



名言を心に・・・

「計画のない目標は、ただの願いごとにしすぎない」

— アントワーヌ・ド・サン・テグジュペリ —

明日から、17日間の冬季休業に入ります。そして、早いもので今年も残すところ、9日間になります。皆さんはどのような気持ちで新年2018年を迎えるでしょうか。

新年に、1年の目標を立てる人も多いと思います。2017年最後の原山通信は「目標」について少し考えてみましょう。今回の名言は、フランスの操縦士・小説家であるアントワーヌ・ド・サン・テグジュペリ氏です。

1943年に初めて出版された彼の代表的な小説「星の王子さま」は、皆さんも知っている人が多いのではないのでしょうか。この「星の王子さま」は、世界200以上の国と地域で出版され、世界で1億5千万冊も売れた大ベストセラーです。また、サン・テグジュペリ氏は、郵便輸送の操縦士として、欧州—南米間の飛行航路開拓にも携わった人間の一人でもあります。



〈サン・テグジュペリ氏〉

飛行機にレーダーがない時代に、無蓋（むがい）「屋根がない」の飛行機に乗り、前をよく見るために風防ガラスから身を乗り出して郵便飛行機を操縦していたサン・テグジュペリ氏にとっては、先輩操縦士の経験を聞き、目印を地図に書き込み、徹底した飛行計画を立てて目標飛行に臨むことは、無事に郵便物を輸送し、自らの命を守るために欠くことのできないことであったと考えられています。今回の名言である「計画のない目標は、ただの願いごとにしすぎない」という言葉は、サン・テグジュペリ氏にとっては当たり前のことであったと考えられています。

多くの教師や指導者が、目標の大切さを伝えています。また、目標を立てるだけでなく、「具体的」とも伝えています。中学生の皆さんにとっては具体的と言われても、難しいかもしれません。しかし、多くの成功者といわれる人間は、「スケジューリング」と「プランニング」といわれることを意識し、大人へ成長する段階で成功体験をしています。

「スケジューリング」…いつ、何をするのかを考え、決めること。

※自分で決めたことだけでなく、他の人と決めたことも含まれる。

「プランニング」…実現したいことを、どうやって実現するのかを考えること。

※何が必要で、どの順番で行うのか、誰の助けが必要なのか。また、どのようなスキルや知識、経験が必要なのかを計画すること。

『目標（こうありたい、こうしたい）⇒スケジューリング（「いつ」行うか考える）⇒プランニング（「どうやって」実現するか考える）⇒実現（目標の達成）』

このように、目標を達成するための道筋を立てることによって、達成できなかった場合でも、スケジューリングに無理があった、プランニングの考えが甘かったなどの反省点を導くこともできます。つまり、「スケジューリング」と「プランニング」は、目標達成のためには必須と言えます。

皆さんは、これまでに「目標は立てたけれど、達成しなかった」という経験をした人はいないでしょうか。新年2018年は、自分が立てた目標の達成のために、これまでとは少し違った目標達成の努力をしてみてもはどうでしょうか。

